



サイバーニュース

2022年5月
第5号



ランサムウェアの被害状況について

ランサムウェアとは、感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価として金銭を要求するマルウェアです。

最近の事例では、データの暗号化のみならず、データを盗んだ上、さらに「対価を支払わなければデータを公開する」などと金銭を要求する二重恐喝（ダブルエクストーション）という手口が多くなっています。



警察に通報のあった、全国の企業や団体等におけるランサムウェアの被害は、令和2年下半期以降、右肩上がり増加しています。

被害の特徴としては、

- ・二重恐喝の手口が 85%
- ・暗号資産による支払い要求が 91%
- ・大企業や中小企業など、その規模を問わず被害が発生
- ・調査や復旧に要した期間や費用については、
復旧に1か月以上要したのが24%
1,000万円以上の費用を要したのが43%

などとなっています。

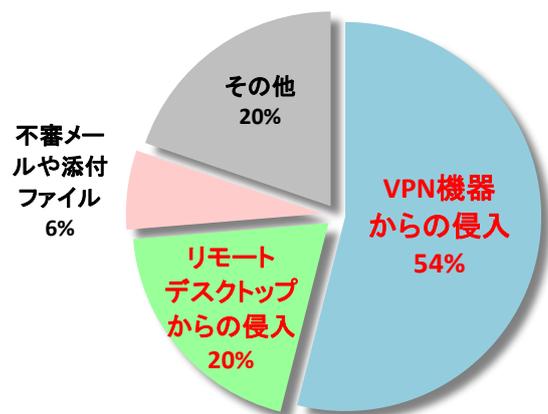


ランサムウェアの感染経路の変化について

従来のランサムウェアは、不特定多数の利用者を狙って電子メールの添付ファイルとして送信するといった手口が一般的でしたが、現在では、サイバーニュース第3号でもご紹介したとおり、VPN機器やWindowsのリモートデスクトップ接続の脆弱性を狙って侵入しランサムウェアに感染させる手口が大半を占めています。

そのため、添付ファイルが付いているなどの不審なメールに気を付けるだけではなく、機器やソフトウェアを常に最新の状態に保つことが重要となっています。

ランサムウェアの感染経路



常に最新の状態へのアップデートをお願いします！



石川県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課



076-225-0110



cyber@police.pref.ishikawa.lg.jp

